

- 上野図書館 ☎ 21-6868
- いがまち公民館図書室 ☎ 45-9122
- 島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内) ☎ 59-2291
- 阿山公民館図書室 (あやま文化センター内) ☎ 43-0154
- 大山田公民館図書室 (大山田教育センター内) ☎ 47-1175
- 青山公民館図書室 ☎ 52-1110

図書館だより

Library Information

★新着図書紹介 (上野図書館)

■一般書

『しばいぬ 世界一かわいいニッポンの犬』
岩合 光昭/写真
飼い犬として人気の高い柴犬は、国の天然記念物に指定された、日本を代表する犬種です。日本の美しい風景の中に溶け込む柴犬の姿が満載で、見ているだけで心が和む写真集です。

■一般書

『東海の日職一芸③』
オカダ ミノル/文
茶畑 和也/イラスト
それぞれの天職を見つけ、その道で生きている東海地方の人々を紹介するシリーズ本の第3弾。市内からも4組の職人の生きざまが、イラストと共に紹介されています。



■児童書

『もったいないばあさん もりへいく』
真珠 まりこ/作・絵
お花がいっぱいの野原に出かけて、野遊びをしよう！野の花で作る髪ざりや指輪、ささふねの作り方、四つ葉のクローバー探しなどを、もったいないばあさんが教えてくれます。

■絵本

『ほんとのおおきさ・なかよし動物園』
小宮 輝之/監修
ウサギ、ポニー、アルパカなど、動物園でさわることのできる動物が、実物大の写真で紹介されています。毛の質感や顔の大きさなどがよくわかるほか、実際に動物と接するときの参考になる情報も記されています。

6月の読み聞かせ

開催日	会場	時間	催物	*は読み手
7日(火)	島ヶ原公民館図書室	10:00～30分程度	絵本の時間「ネエよんで」	
11日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	14:00～30分程度	おはなしの会	
15日(水)	上野図書館 2階視聴覚室	10:30～30分程度	えほんの森 *おはなしボランティア「よもよも」	
15日(水)	上野図書館 2階視聴覚室	15:00～30分程度	えほんの森 *おはなしボランティア「よもよも」	
19日(日)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会 *読み聞かせボランティア「はあと&はあと」	
21日(火)	阿山公民館図書室読み聞かせ室	10:30～30分程度	読み聞かせ会 *読み聞かせボランティア「はあと&はあと」	
22日(水)	青山公民館図書室絵本のコーナー	10:30～30分程度	大きな絵本の読み聞かせ会	
25日(土)	上野図書館 2階視聴覚室	14:00～30分程度	おはなしの会	

★絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします

日記に残された伊賀

市史編さんだより(21)

日記は、古代において朝廷の儀式や行事を記録するものとしてつづられたのが始まりとされます。この日記が時代を経るにつれ、私的な出来事などを記すようになり、書き手も貴族だけにとどまらず、僧侶や武家など多くの人々によって記されるようになりました。

このようにして残された日記の中には、伊賀地域について触れた記録もあり、中には、実際に伊賀を旅した人物の日記が存在します。

戦国時代に伊賀を訪れたのが、京都吉田社の神主、吉田兼右よしたかねみぎ。兼見の親子です。兼右らは神道の普及を図るため、各地の神官や村の代表者のもとを巡っており、伊賀にも数度にわたり滞在していたことが、彼らの日記『兼右卿記』かねみぎきょうきや『兼見卿記』かねみききょうきに残されています。

例えば、永禄11年(1568)3月、兼右は伊賀の侍衆から一宮(敢国神社)あえくににおける法会ほうえへの招待を受け、9日に伊賀国へと入り、23日まで伊賀に滞在しています。この間、彼は伊賀各地の神社に対して位階を授けたり、さまざまに許可を与えたりするだけでなく、大工へ上棟行事に用いる呪文を授けたり、亡くなった妻の祟りに悩まされる者への対処を実施する



▲敢国神社 (一之宮)

など多彩な活動を見せています。この兼右や兼見の日記に頻繁に登場するのが伊賀の侍衆です。当時の伊賀国は、守護の権力が弱かったため、守護が担うべき一宮の祭礼を年預(当番役)を中心とした侍衆が執り行っていました。この侍衆が兼右らを招きました。この指図を受けていたようです。神道を普及させたい兼右らと、その権威を利用して一宮の祭礼のもとに結果しようとする伊賀の侍衆という当時の様相が日記を通して垣間見えます。

市では、これら古代・中世の伊賀について記載した『伊賀市史』第1巻通史編 古代・中世を、販売しています。お買い求めは市内の各書店または総務課市史編さん係までお問い合わせください。

総務課市史編さん係
☎ 52・4380 FAX 52・4381